学校だより

横浜市立いちょう小学校
平成25年　10月号
2013年　9月30日

爽やかな風にのって

朝晩はひんやりとした秋気が心地よく、夏の猛暑が嘘のように爽やかな風が吹くようになりました。１０月の最終土曜日には、運動会も予定され、活動し易いこの時期、練習にも自然と熱が入るようです。

さて、最近いちょう団地や多文化まちづくり工房、いちょう小学校がテレビで紹介された番組をいくつか見ました。各テレビ局の番組内容は少しずつ違いはありますが、少子高齢化とともに『国際化する日本の社会』に目を向け、外国の方が多く住む団地の皆さんの工夫や、その方たちを支援する地域の取組、その地域の学校に通う子どもたちの様子を中心に取材が行われていました。

インタビューに応える子どもたちも、「クラスの中に外国の人は多いけど、外国の人と思ったことはない」「国は違っても人間同士で生きていくとき、思いやりって国とかは関係ない」など、普段から感じている気持ちを率直に表現していて、見ていてとても好感がもてました。また、学習教室で頑張っている姿やどんな事にも真剣に取り組む姿、明るく元気に登校する姿など、爽やかな雰囲気を感じました。

読書と学力

読書と学力の関係については、いろいろな機関で研究・検証が行われています。そして、その結果は「読書をする習慣のある子どもは学力が高い傾向がある」ことがわかっています。その理由として、語彙(ことば)が豊富になり思考が深まる。読解力や文章力が高まる。漢字が覚えられる。想像力や表現力が付く。などの他に、副産物として知識が身に付く。物事を様々な視点から見られるようになる。集中力が付く。といったようなことが言われています。

そこで、いちょう小学校でも毎週火曜日に「読書タイム」を設定したり、地域で読み聞かせボランティアの活動をしていらっしゃるモチモチ文庫の笠原八重子先生にお越しいただいたりして、本に親しむ活動を取り入れています。今年は１０月２７日(日)～１１月９日(土)［文化の日を中心にした２週間］が読書週間になっています。家族で図書館に行って本を借りて、みんなで読書するのも楽しいと思います。心に残る一冊との出会いがあるかも知れません。